

大手前短期大学 授業アンケート集計報告

実施対象科目／2020年度 春・秋学期 開講科目 ※単位認定科目は除く

実施方法／Web回答(学生対象オンライン掲示板にて実施を事前告知)

実施期間／ <春学期> 最終授業日から1週間程度

<秋学期> 13週目から回答可能とし、14回授業終了後2週間までを学生の入力期間とする

対象授業／全授業

対象学生／全学部・全学年(※授業履修者)

授業アンケート回答率／春学期61.1%・秋学期46.0%

基本情報

・授業数（授業形態別）と回答数

※回答率は、下表「回答数」を実施科目の履修者数で除したもの

学期	講義				演習				実技/実験/実習				計			
	対象授業数	履修者数	回答数	回答率	対象授業数	履修者数	回答数	回答率	対象授業数	履修者数	回答数	回答率	対象授業数	履修者数	回答数	回答率
春学期	95	3,342	1,966	58.8%	42	1,140	763	66.9%	18	387	248	64.1%	155	4,869	2,977	61.1%
秋学期	88	2,769	1,259	45.5%	28	690	348	50.4%	27	516	220	42.6%	143	3,975	1,827	46.0%
計	183	6,111	3,225	52.8%	70	1,830	1,111	60.7%	45	903	468	51.8%	298	8,844	4,804	54.3%

・2019年度に比べ、回答率が下がった理由として

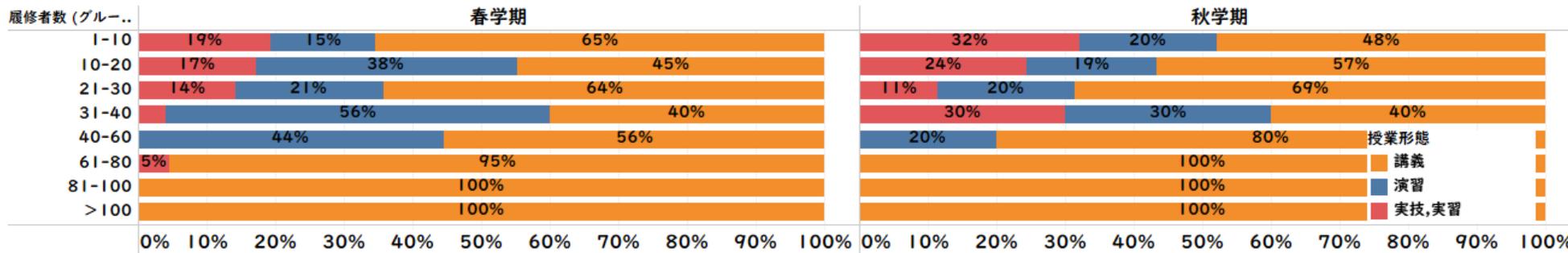
従来は授業内において教員より直接学生へ周知していたが、コロナ禍において非対面授業数が多くなった。

そのため、本学独自の学修支援Webシステム「el-Campus」を用い、アンケートに関する案内および「el-Campusアンケート機能」による調査を実施。

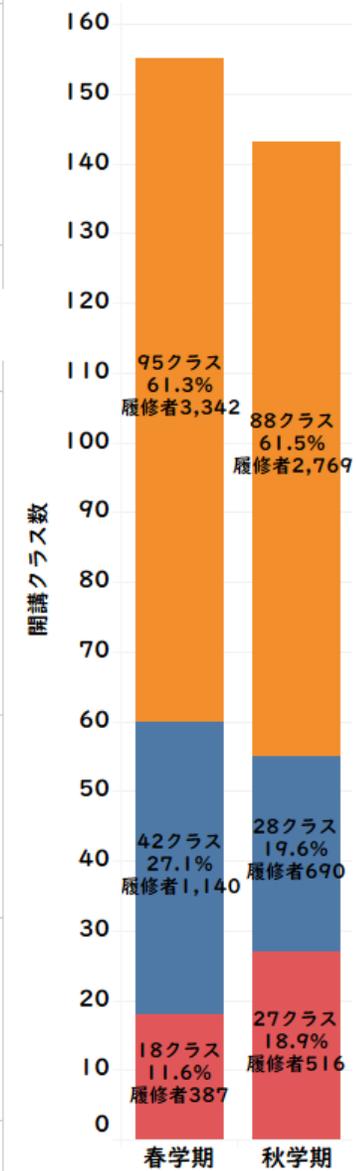
告知も含めてオンラインで行うチャレンジを行った結果、昨年度（全体回答率63.3%）より回答率そのものは下がったが、実施主体の教務課の感想として、告知含めオンラインで実施のためもう少し低い回答率も予想していたため、思ったよりは高い回答率となったと分析している。今後も引き続き、Webシステムを通じての効率的かつより回答率の高い調査を目指す。

履修者数と授業数に関するデータ(授業形態別)

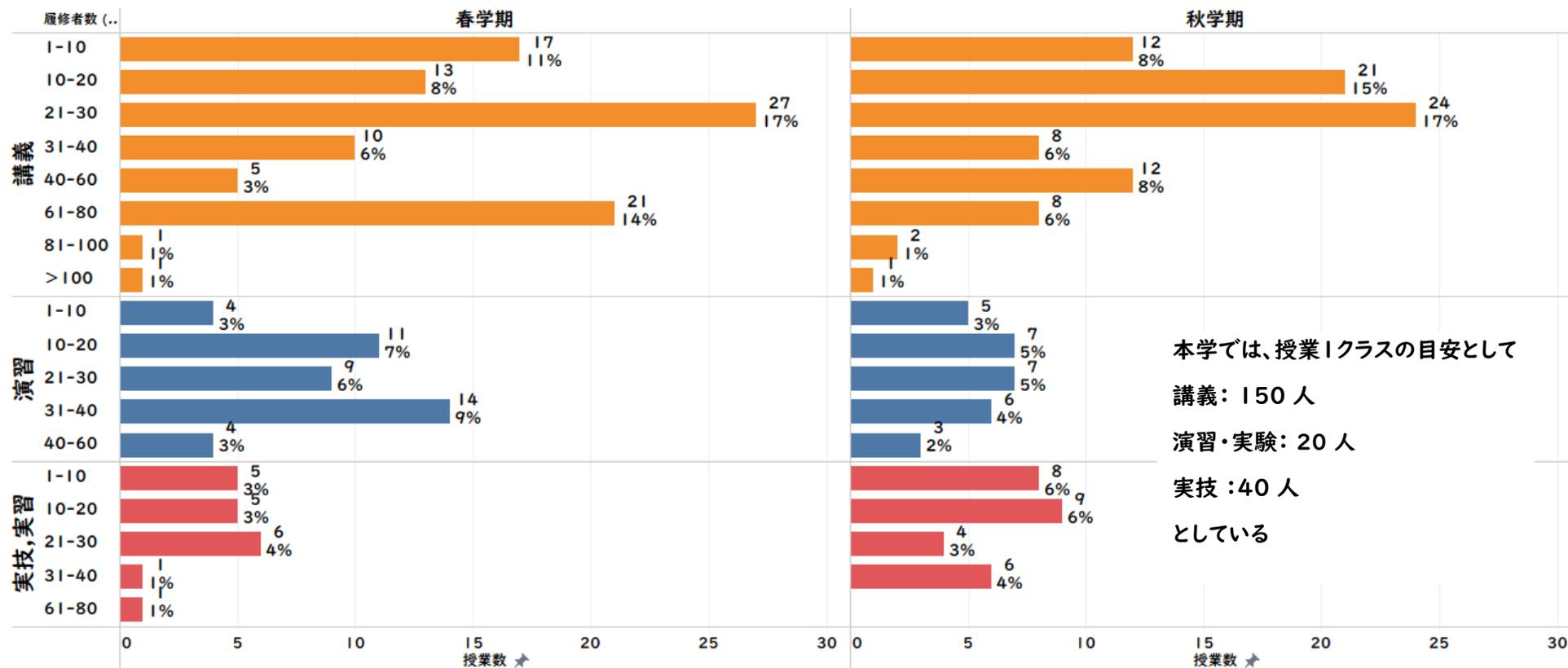
履修者×授業形態の割合



授業形態別クラス数・クラス割合・履修者総数



履修者数×授業クラス数



本学では、授業1クラスの目安として
 講義：150人
 演習・実験：20人
 実技：40人
 としている

授業アンケート設問

A: アンケートに答えるにあたり (設問1~3)

- 1 この授業に積極的に参加しましたか?
- 2 予復習など自主的な学習努力をしましたか?
- 3 自分自身の授業に臨む態度や取り組みから、あなたはこの授業を正當に評価できる立場にありますか?

B: この授業について (設問4~9)

- 4 授業に対する教員の熱意を感じましたか?
- 5 授業内容は授業概要(シラバス)に沿っていましたか?
- 6 テキスト・配布資料・スライド等の使用、板書は適切でしたか?
- 7 先生の声や話し方は聞き取りやすかったですか?
- 8 理論や考え方、専門用語の説明を始め、実習・演習の指示等がわかりやすかったですか?
- 9 授業の組み立て、時間配分は適切でしたか?

C: 授業を受けてみて (設問10~13)

- 10 授業内容はよく理解できましたか?
- 11 先生に質問したり、発表・議論など、発言の機会がありましたか?
- 12 この授業を受けて有用な知識や情報を修得できましたか?
- 13 この授業内容をさらに勉強したいという意欲がわきましたか?

D: C-PLATS効果について (設問14・15)

- 14 この授業を履修して、C-PLATS能力が伸びたと思いますか?
- 15 能力が伸長したと思う人は、どのような能力が伸長したか、あてはまるものをすべて選んでください。(個数制限なし)

E: 授業全体として総合評価すると (設問16~19)

- 16 この授業を全体としてどう評価しますか?
- 17 この授業について、1週間当たり平均何時間の授業時間以外の事前事後学習をしましたか?
- 18・19 良い点と改善点を自由に記述してください。【回答省略】

回答選択項目と数値化

各設問の回答肢は次の通り

- | 設問 | 回答肢 |
|------|--|
| 1～14 | ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない |
| 15 | ①Communication (コミュニケーション力) ※相手を理解し自分の考えをわかりやすく伝える力
②Presentation (プレゼンテーション力) ※自分の考えをまとめて発表する力
③Language Skill (言語能力) ※決められたテーマについて論理的に表現する力
④Artistic Sense (芸術的センス) ※芸術作品、デザインへの理解力と創造活動を通じて行う表現力
⑤Teamwork (チームワーク) ※集団での自分の役割がわかり協力し合える力
⑥Self-Control (自己管理能力) ※自分の感情を冷静におさめ、行動できる力 |
| 16 | ①とても良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった |
| 17 | ①0時間(h) ②0.5h未満 ③0.5h以上1h未満 ④1h以上2h未満 ⑤2h以上3h未満 ⑥3h以上 |

回答結果を数値 (pt) 化し、平均値算出等に利用している。

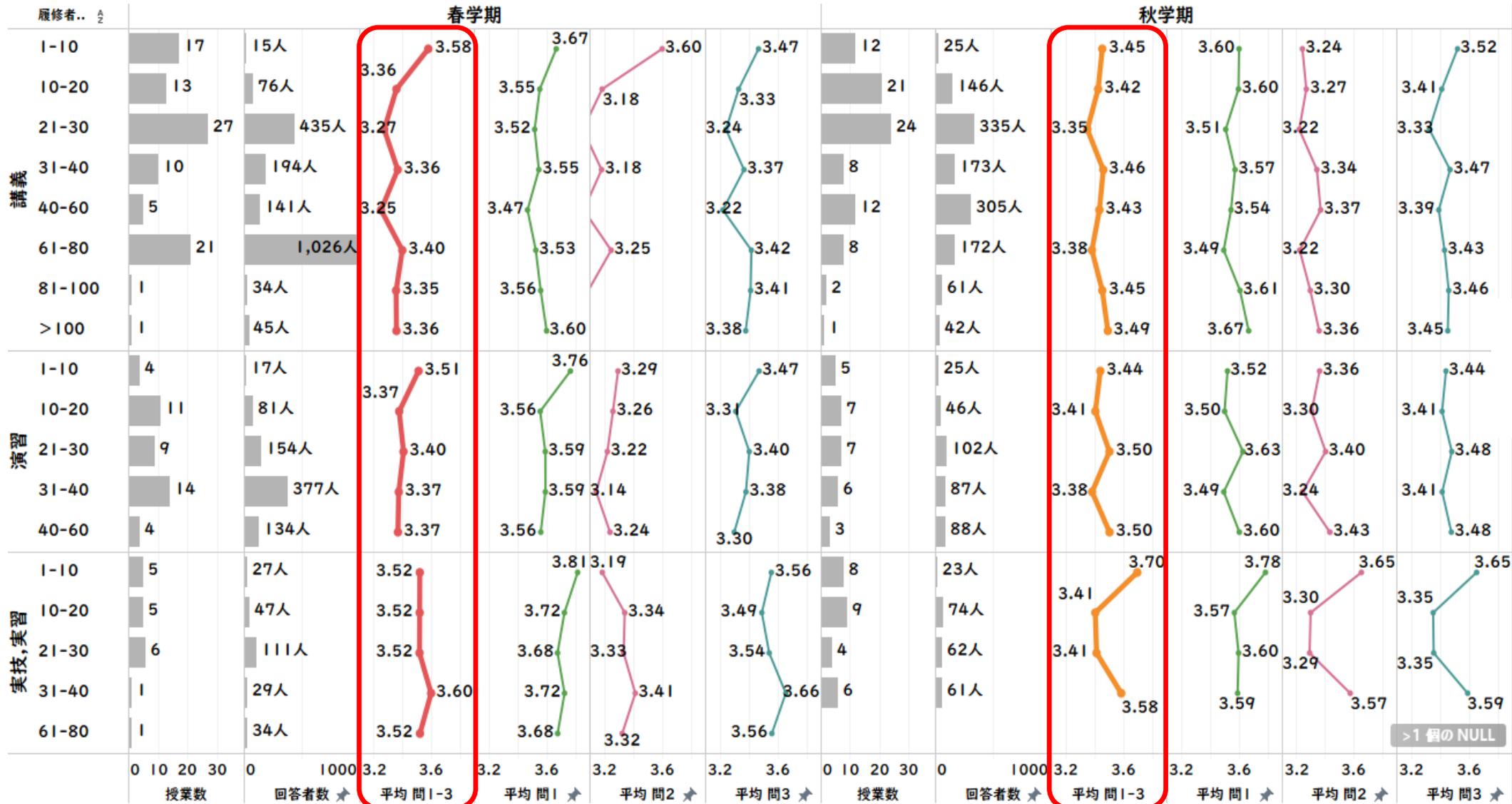
設問	回答肢の数値化							
1～11	①そう思う	4pt	②ややそう思う	3pt	③あまりそう思わない	2pt	④そう思わない	1pt
13	①とても良かった	4pt	②良かった	3pt	③あまり良くなかった	2pt	④良くなかった	1pt

集計結果

集計について、各設問の平均値および、P4記載のA~E区分に分類した平均値を算出したものと、設問12本学独自の成長度を可視化した【C-PLATS能力の選択】と設問14（授業外学習時間）の選択数累計を示す。

授業数と回答者数について、次ページ以降のデータ数も本ページと同じ

問1-3 A: アンケートに答えるにあたって

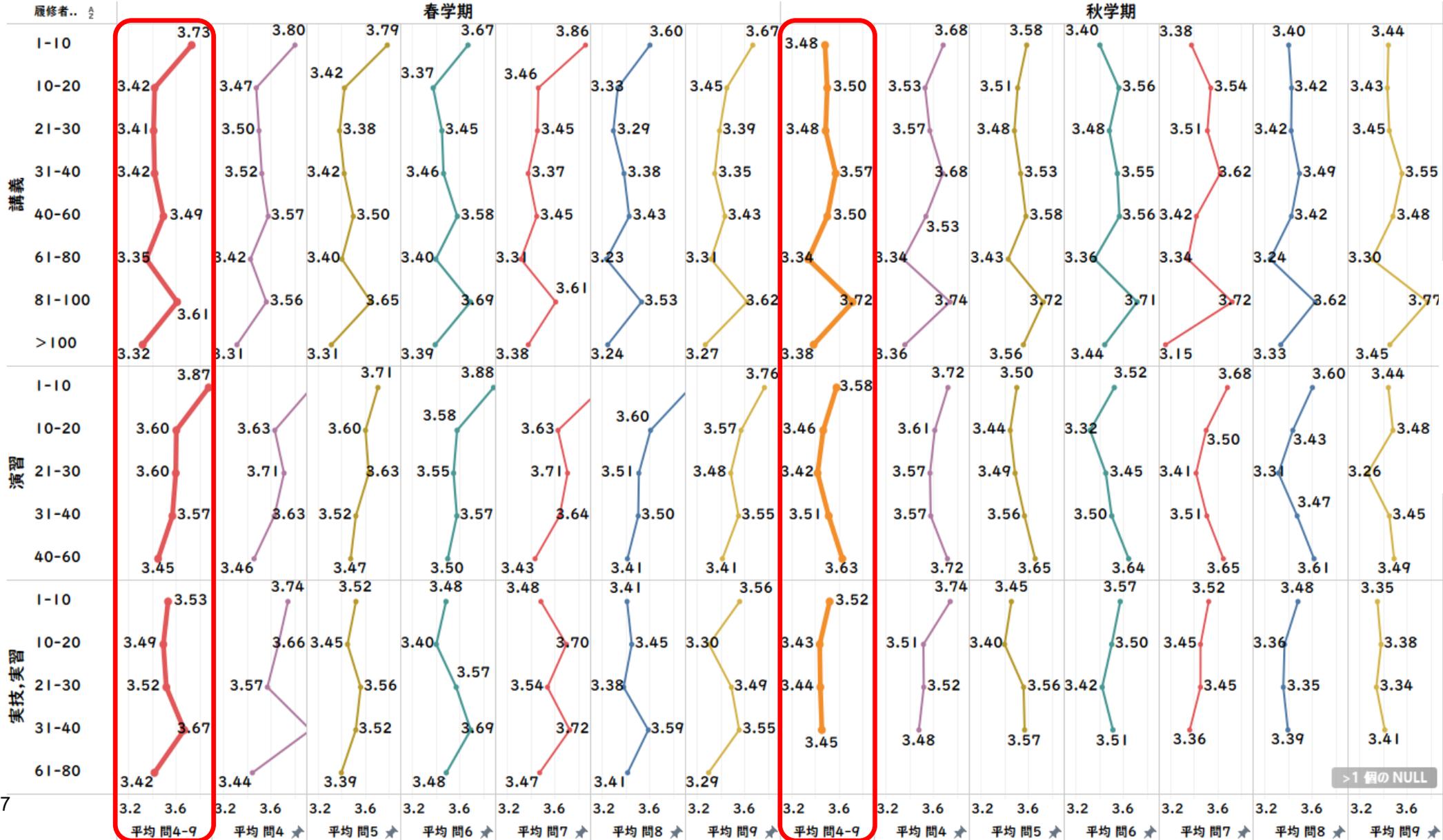


・ 赤枠は各問の平均値

・ 問2は平均値が授業形態にかかわらず全体で低い

集計結果

問4-9 B:授業について

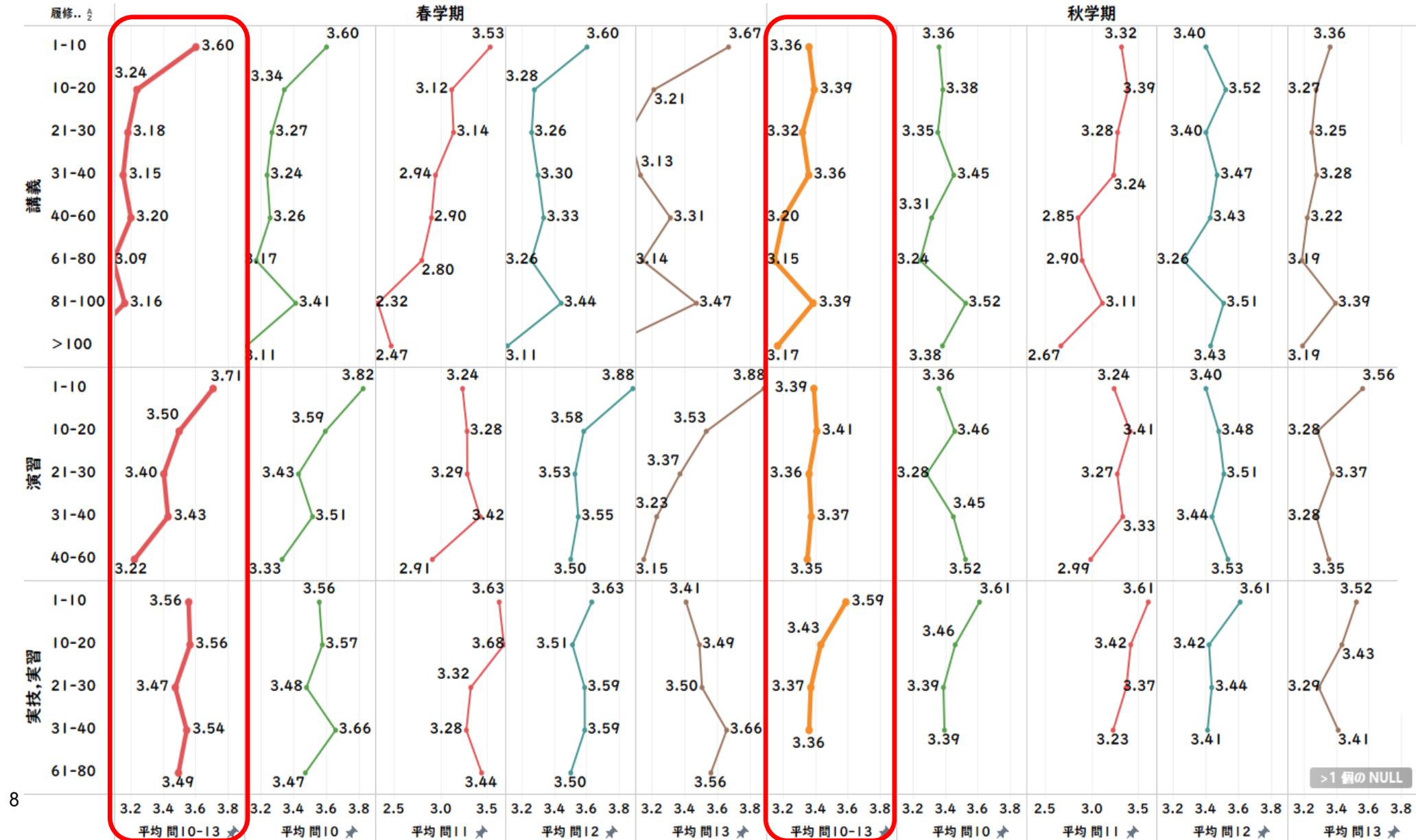


・赤枠は各問の平均値

・各問について、「講義」は春、秋通じ「履修者80~100」の満足度が高く「履修者61~80」「履修者100以上」の満足度は少し低い

集計結果

問10-13 C:授業を受けてみて



・赤枠は各問の平均値

・問10について、履修者が増えるほど満足度が低くなる傾向

・問11のみ平均値が低いため範囲設定を2.3~3.7とした

・問11について、「講義」は履修者が増えるほど発言機会がないと感じている学生が多い

・問13について、履修者が増えるほど満足度が下がる傾向だが、「実技」系はそれほどでもない数値が出た

・C分類全体の平均値は他の分類よりも低い

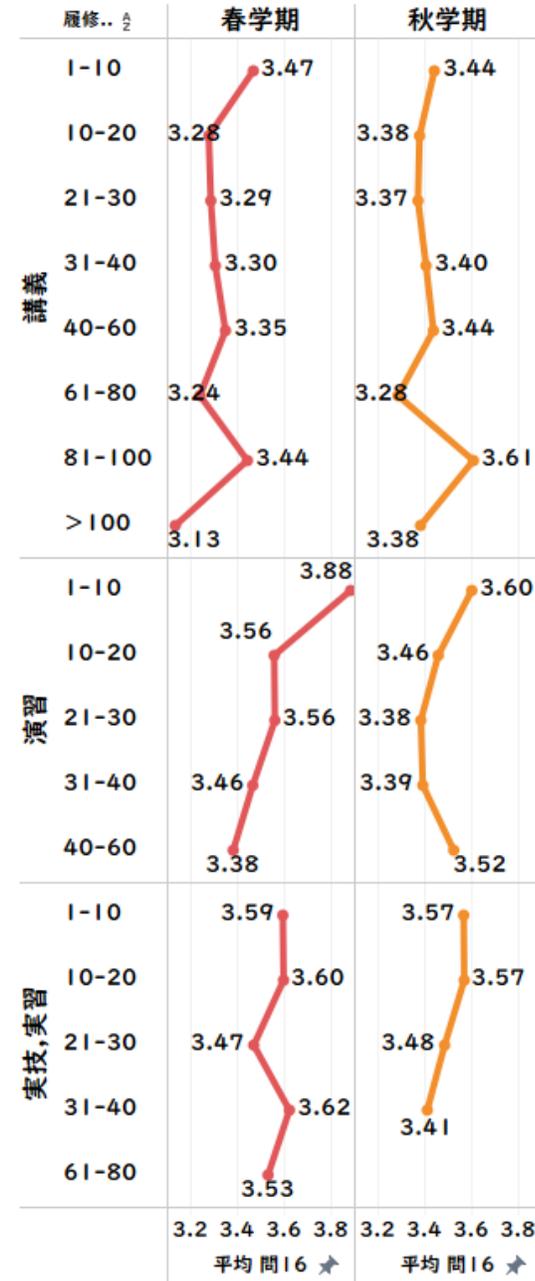
>1 個の NULL

集計結果

問14 D:C-PLATS効果について



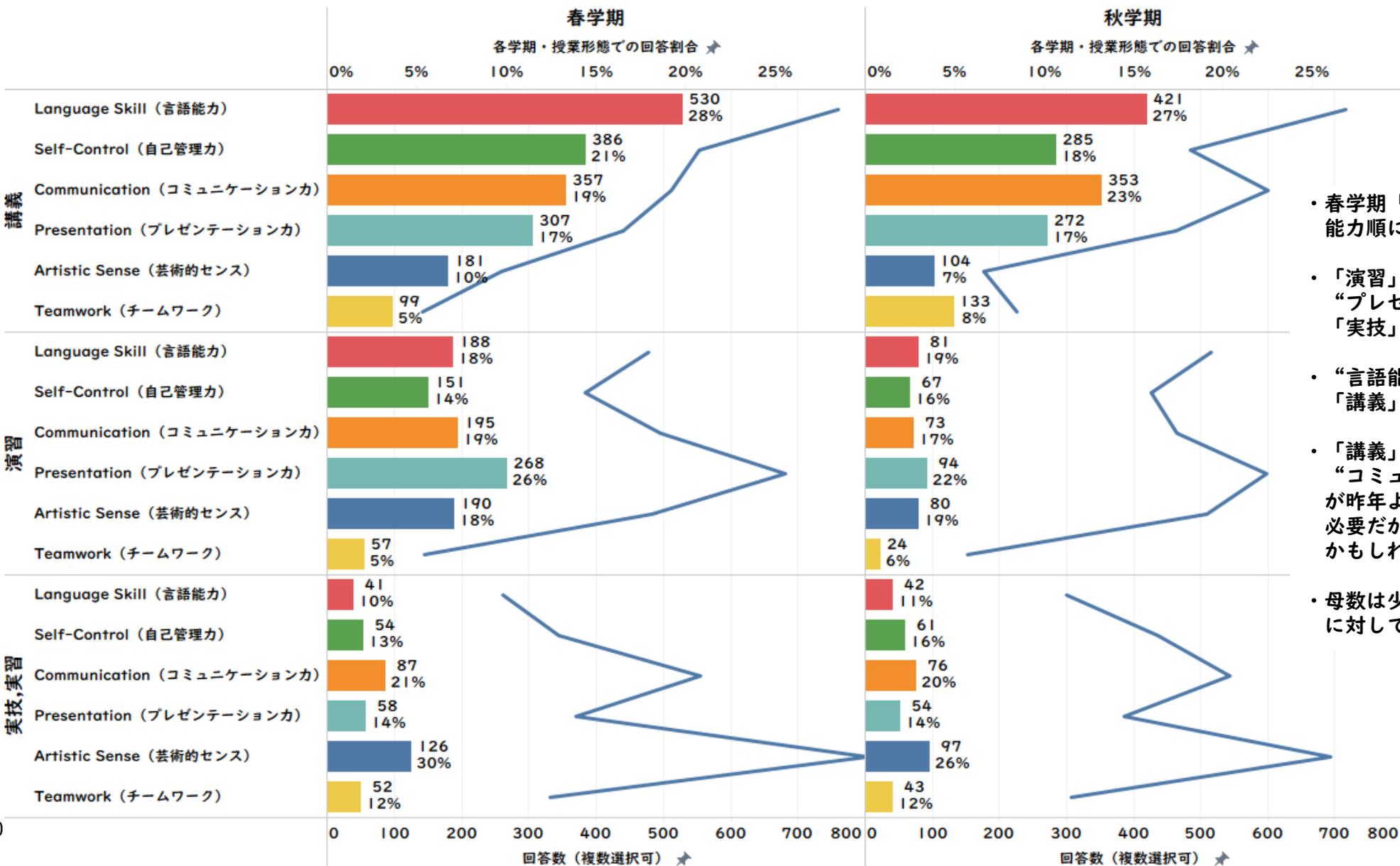
問16 E:授業全体の総合評価



- ・問14について、平均値が低いため範囲を2.7~3.5とした
- ・問14について、C-PLATS能力が伸びたと答えた学生は履修者数が増えるほど減る傾向にある。

集計結果

問15 C-PLATS 伸びたと思う能力の選択（複数選択可）



・春学期「講義」の選択件数が多い
能力順にソート

・「演習」は
“プレゼンテーションカ”
「実技」系は“芸術的センス”が高い

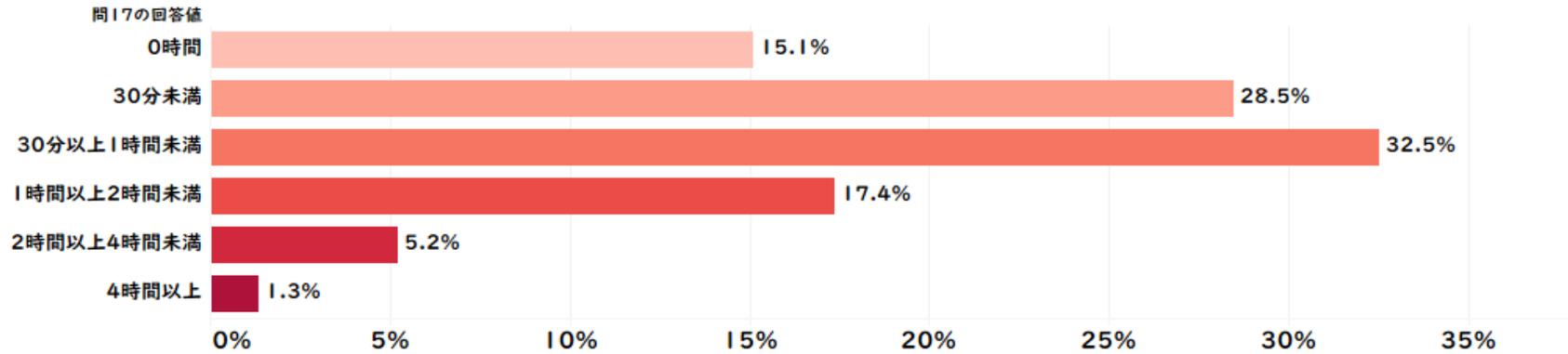
・“言語能力”
「講義」に多く、「実技」系少ない

・「講義」「演習」系
“コミュニケーションカ”
が昨年よりも下がっており、別途調査が
必要だがオンライン授業の影響があるの
かもしれない

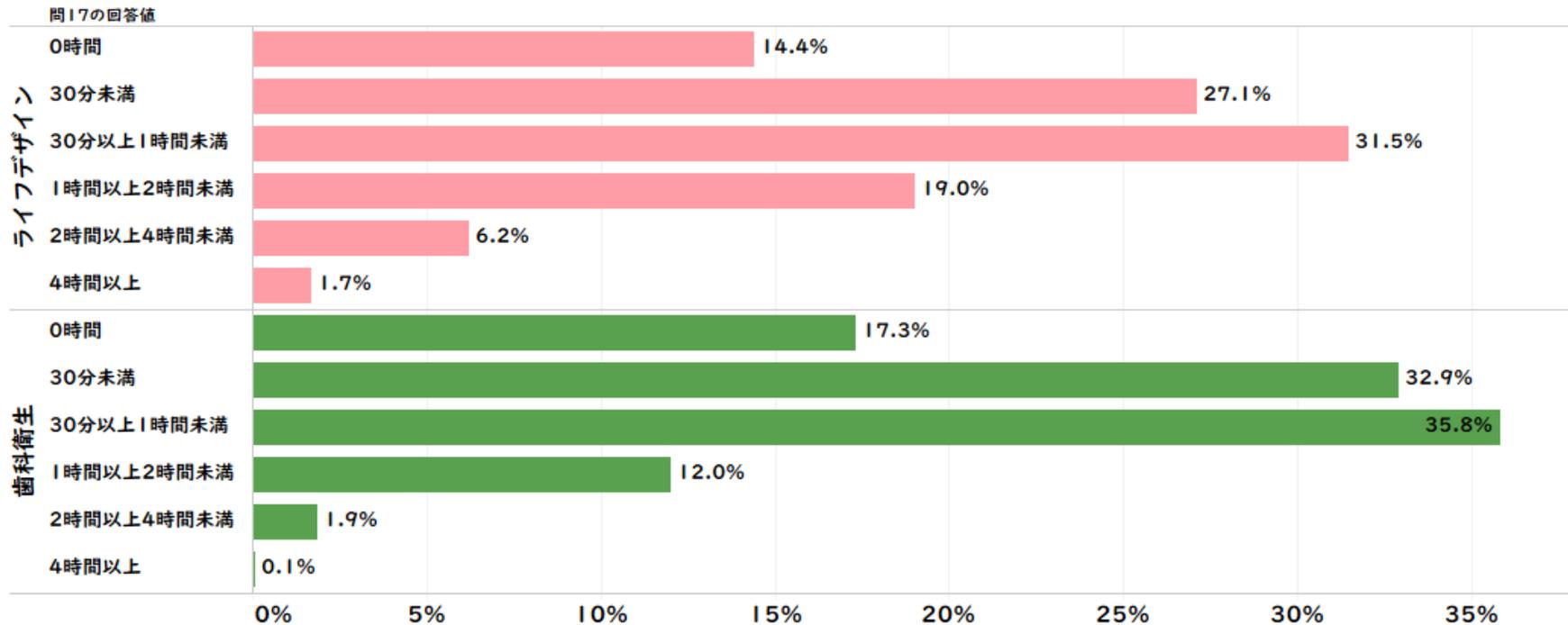
・母数は少ないが、「実技」系の各項目
に対する割合は平均している

集計結果

問17 E:授業全体の総合評価※1授業当たりの1週間平均学習時間



問17 E:授業全体の総合評価（学科別）※1授業当たりの1週間平均学習時間



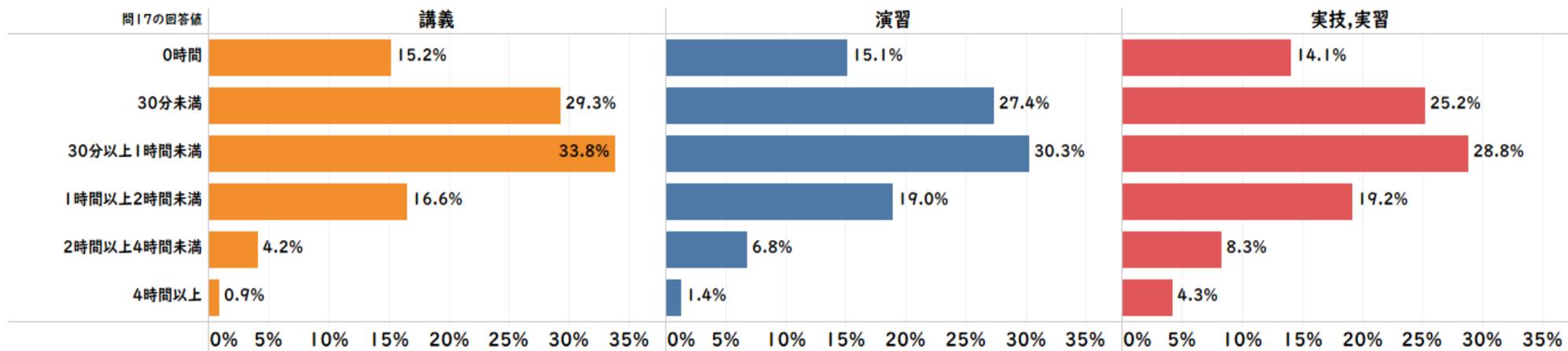
・学科別も同じ傾向

・昨年と比べ、「0時間」回答が8%低下

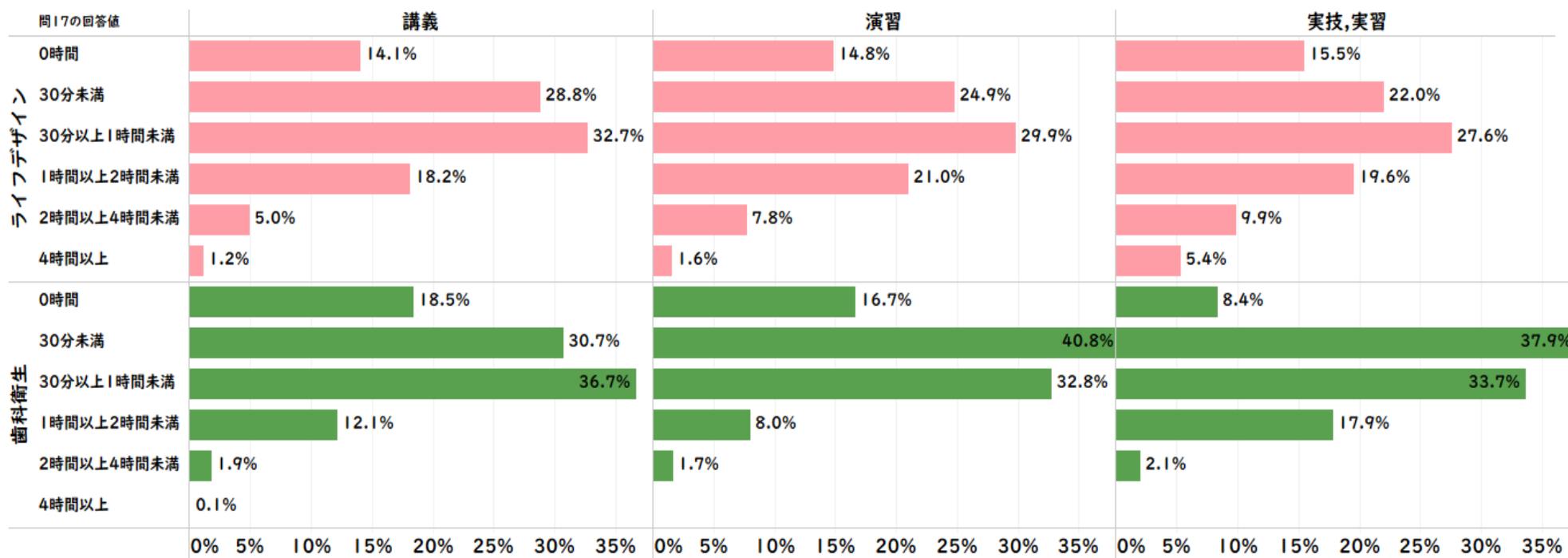
・30分～1時間が昨年23.2%より増加
 ①オンライン授業により、通学時間を学習に充てた
 ②各授業の課題提出が多くなったなどの推測ができるが、理由を確認するためには、別途調査が必要

集計結果

問17 E:授業全体の総合評価（授業形態別） ※1授業当たりの1週間平均学習時間



問17 E:授業全体の総合評価（学科・授業形態別） ※1授業当たりの1週間平均学習時間



・学習時間と講義別で見ると
相関は薄い

・学科別で見ると
歯科衛生は「実技」系で
学習時間が増えている